



秋田北鷹高校 農場たより

NO.12 令和元年 11月

「第142回秋田県種苗交換会 第29回秋田県産業教育フェア種苗交換会部門」

11月2日(土)3日(日)

第142回秋田県種苗交換会の開催期間中、11/2・3の2日間、大館市タクミアリーナにおいて「第29回秋田県産業教育フェア種苗交換会部門」が行われました。秋田北鷹・大館桂桜・大館国際情報学院・比内支援学校の4校で出展を担当しました。

秋田北鷹高校は、県内農業高校と本校農業学科の活動紹介パネル展示の他、県内農業高校農産物、農産加工品、木工品等の販売と積み木、ドミノ、木製ストラップ作成の体験コーナーを行いました。大館桂桜高校では、活動紹介パネル展示、ピンボールや木のおもちゃ遊び等の体験コーナーと桂桜名物「かまぶく」試食を行いました。大館国際情報学院高校は、活動紹介展示、パン・洋菓子販売を行いました。比内支援学校は、活動紹介、作業学習製品の販売を行いました。

県内外からたくさんの方が来場し、産業教育活動を知っていただく絶好の機会となりました。大館市協賛会、JA秋田中央会ははじめ、支えてくださった皆さんに感謝申し上げます。



「キリタンポ実習」 生物資源科1年 11月11日(月)

今年度も自分たちで手植えしたあきたこまちを手刈りして収穫し、野菜、比内地鶏の調整など食材準備、たんぽ作りから手作りで行いました。天候にも恵まれ最高のきりたんぽ鍋をいただきました。

炭焼きの香りもおいしさを際立たせてくれました。森林コースの皆さんありがとう。太陽の恵み、大地の恵みに感謝です。



「製炭実習」緑地環境科森林コース3年 11月12日(火) 14日(木)

吉ヶ沢演習林にて製炭実習を行いました。材の切り出しを事前に行ったものを、釜入れし火入れしました。窯出しも自分たちで行い猛烈な暑さに圧倒されました。煙の色、臭い、消し粉の使いかた、炭ができる現場を体験、五感を刺激される演習林の実習の中でも思い入れのある実習となりました。

昨年、テングス病で伐倒した桜を活かすことが出来たことも、材の有効利用につながり良かったです。

自分たちでつくった炭で食事が出ることや、生物資源科のきりたんぼ実習で活躍していることなど、充実した気持ちになりました。



「高性能林業機械操作体験学習会」緑地環境科森林コース1年 11月26日(火)

北秋田森林・林業振興会のみなさんの協力と全面的な支援をいただき、高性能林業機械操作体験学習会を実施しました。秋田市河辺の秋田県林業研究研修センターにて行いました。高額な高性能林業機械を見ることも、なかなか経験できないものです。今回は運転操作までさせていただきました。こうした、機械の力で林地での作業労力の軽減や作業のリスク回避にもなります。新しい時代の林業システムを体験できて勉強になりました。

